

# 緑内障治療薬を使いこなす!

## ～継続的な眼圧コントロールを実現するために～

日時

2016年11月4日(金) 12:25～13:25

会場

第14会場

グランドプリンスホテル京都 1Fロイヤルルーム  
〒606-8505 京都府京都市左京区岩倉幡枝町1092-2



座長

谷原 秀信 先生

熊本大学大学院 生命科学研究部 眼科学分野 教授

### 【座長のことは】

近年、新しい緑内障治療薬が登場し、薬剤の選択肢が増えたことは非常に喜ばしいことである。しかし、併用薬剤数の増加は、アドヒアランスの低下につながる。そのため、必要最小限の薬剤で最大の効果を得るという原則のもと、各薬剤の作用機序、臨床効果、副作用の特徴を理解した上で薬剤選択することが、今まで以上に求められる時代となってきた。さらには、点眼治療を継続するうえで、薬剤の特徴を患者に事前説明することも重要である。

本セミナーでは、本庄先生から緑内障治療薬の特徴、特にROCK阻害薬を中心に整理していただき、また溝上先生からは緑内障治療薬におけるアドヒアランスの理想と現実のギャップについて、わかりやすく紹介していただく。これらを通じて、日常診療で継続的な眼圧コントロールを実現するためのヒントが得られるものと期待している。

### 講演1



## 作用機序を考慮した薬剤選択

演者

本庄 恵 先生

東京大学医学部 眼科学教室 講師

### 講演2



## 緑内障点眼薬のアドヒアランス その理想と現実

演者

溝上 志朗 先生

愛媛大学大学院 医学系研究科 視機能再生学 准教授